

ツブキ先生の
虫のつぶやき

植物編

虫を呼ぶカラスウリの
花のテクニク

津吹卓



▲写真1: カラスウリの実

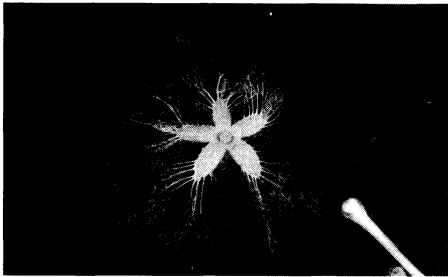
皆さんはカラスウリを見たことがありますか。秋になると藪やぶに、大きさ6 cm前後のオレンジ色のウリがぶら下がったりしますね（写真1）。では花はご存じでしょうか。そこで、

第1問 花の季節はいつで

しょう。実は秋ですね。だから、答えは夏です。一体どんな花なのでしょう。写真2をご覧ください。白い星形の花の周りにきれいなレースが付いています。直径10 cmほどでしょうか。優雅ですね。

第2問 花にとってこのレースはどんな意味がある

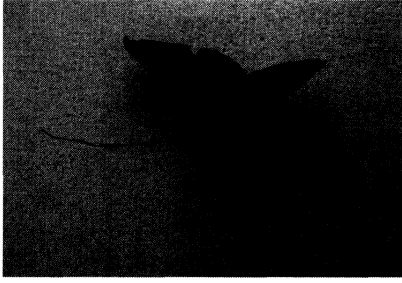
のでしょうか。花は、虫を惹き付けて蜜を与える代わりに、虫に花粉を運んでもらいます。花は大きいほうが目立ちます。しかし大きな花を作ると、植物には大変なエネルギーが必要です。だから、答えは、省エネです。何となく大きな花に見せて、でも手は抜く。うまく生きていくための工夫です。



▲写真2: カラスウリの花

第3問 この花が目立って咲くのは一日のいつごろでしょうか。答えは夜です。暗い中に、この白い花がフワッと浮かんで見えるのです。ぜひ、この花のよい香りを嗅いでほしいと思います。花は、香りと白い姿で虫を惹き付けているのです。

第4問 一体どんな虫が来るのでしょうか。写真2では、咲いている花の横には、これから咲く花のつぼみが見られます。これを見ると花の筒が深いことがわかります。だから答えは、この筒の奥の蜜まで届く口をもった虫ということになります。具体的に



▲写真3: キイロスズメの長い口

は、スズメガという蛾の仲間が多く来ます。写真3はその仲間のキイロスズメという蛾で、口の長さは5cmもあるでしょうか。これなら奥まで届きますね。

植物は、花の色と香りで虫を惹き付けて、花粉

を運ばせます。その花の形に適した虫が訪れて蜜や花粉をもらいながら、花粉を運ぶのです。つまり、花は虫を選ぶ一方で、虫も花を選んでいるのです。花を見たら、花の深さをもとに、どんな虫がその花の花粉を運ぶのか考えてみてください。そして、実際に来た虫が予想どおりだったか確認すると、面白いと思います。

工夫を凝らした「偽りの花」もあります。写真4は、ハンゲシヨウという植物です。花の傍にある葉の半分が白いので、白粉で半分化粧をしたというイメージです。花は目立た



▲写真4: ハンゲシヨウの葉

ないのですが、横の葉が白く目立つので虫を惹き付ける役割をしているのでしょうか。

(十文字中学・高等学校

(理科/生物)

十文字学園女子大学児童
教育学科非常勤講師)